

CADWe'll Tfas6 CADWe'll Tfas6 E

環境移行手順書

株式会社ダイテック
2016年3月

目次

PC 交換・グレードアップ時の環境移行の流れ	1
環境のバックアップ	2
環境の復元	6
『環境保守』でバックアップされない移行対象ファイル	11
CAPE 情報を Tfas6/Tfas6 E で使用方法	13
保存先フォルダについて	17

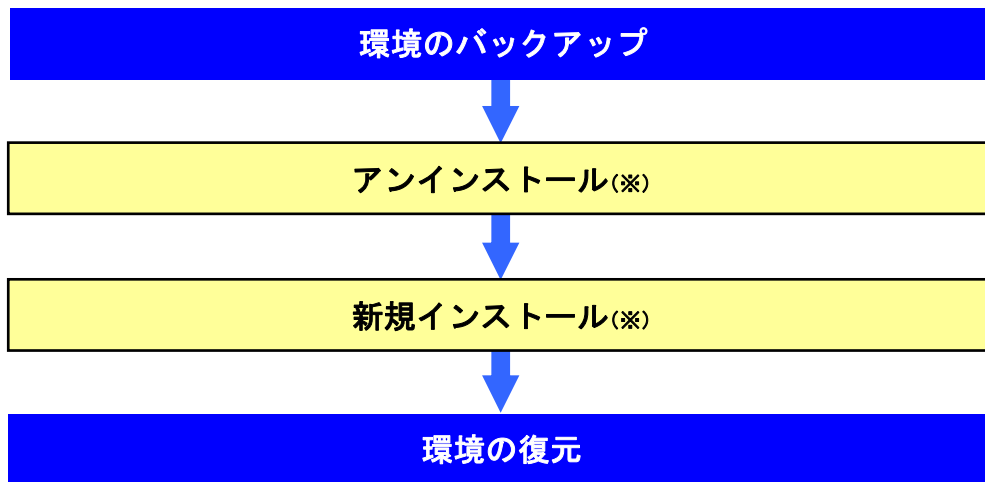
- 「CADWe'll Tfas6」「CADWe'll Tfas6 E」は株式会社ダイテックの商標であり、「CADWe'll Tfas6」「CADWe'll Tfas6 E」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ダイテックに帰属します。
- 本書の記載内容は、予告なく変更することがあります。

PC 交換・グレードアップ時の環境移行の流れ

●環境移行について

PC 交換・グレードアップの形態により環境移行の方法が異なります。下図で環境移行の流れ・種類をご確認ください。

■環境移行の流れ



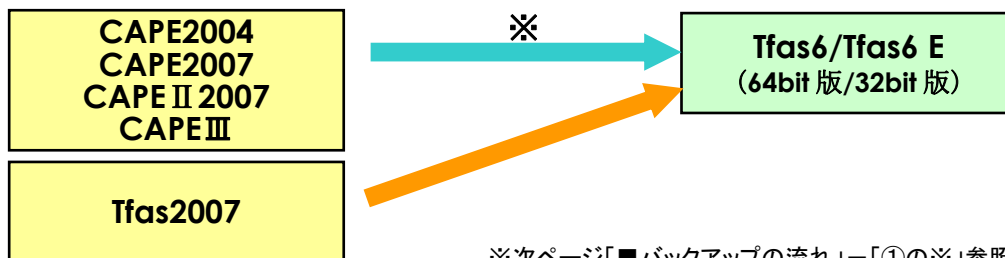
※ 手順の詳細は「CADWe'll Tfas6 インストール手順書」をご覧ください。

■環境移行の種類

(1) PC 交換



(2) グレードアップ



※次ページ「■バックアップの流れ」-「①の※」参照

《補足》

- 「Tfas II 2007⇒Tfas6」「TfasIII⇒Tfas6」「TfasIV⇒Tfas6」「Tfas V ⇒Tfas6」「TfasIII E⇒Tfas6」「TfasIII E⇒Tfas6 E」「TfasIV E⇒Tfas6」「TfasIV E⇒Tfas6 E」「Tfas V E⇒Tfas6」「Tfas V E⇒Tfas6 E」バージョンアップの場合、情報を引き継ぎますので、環境移行は必要ありません。但し、32bit版「Tfas6/Tfas6 E」へのバージョンアップに限ります。

(3) 64bit 版 Tfas への移行



環境のバックアップ

環境の移行を行う上で必要なデータやファイル類をバックアップします。

■ バックアップの流れ

① 『環境保守』によるバックアップ

- ・ Tfas の画面構成やログオンユーザーごとの設定内容をバックアップする。

※ CAPE 環境保守情報は、Tfas6/Tfas6 E で復元することができないため、「CAPE ⇒ Tfas6/Tfas6 E」グレードアップの場合、この操作は行いません。代替方法として「CAPE 情報を Tfas6/Tfas6 E で使用する方法-(1)CAPE 情報のバックアップ(P13)」をご覧ください。



② 部品ライブラリのバックアップ

- ・ Tfas/CAPE の「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」をバックアップする。



③ その他のファイルのバックアップ

- ・ Tfas/CAPE で作成した図面、テンプレートをバックアップする。また、現在設定されているテンプレートのファイル名を確認する※。

※ 現在設定されているテンプレートは、[設定]メニュー[環境設定]([環境設定]ダイアログ[図面]タブの[新規図面])で確認できます。

■ 図面・テンプレートファイル

分類	ファイル	拡張子	対象	
			Tfas	CAPE
図面	図面ファイル	.tfs	●	
	図面ファイル	.tfx	●	
	図面ファイル	.dcc	●	●
	図面ファイル	.dcm	●	●
テンプレート	テンプレートファイル	.tft	●	
	テンプレートファイル	.dct		●

- ・ 上記①でバックアップされない移行対象ファイルをバックアップする。

次ページ以降で、上記①・②について説明を行います。

上記③については、上記①でバックアップされない移行対象ファイルを『環境保守』でバックアップされない移行対象ファイル(P11)]で確認してください。

①『環境保守』によるバックアップ

使用している Tfas の環境保守情報を保存します。


注意

CAPE 環境保守情報は、Tfas6/Tfas6 E で復元することができないため、「CAPE ⇒ Tfas6/Tfas6 E」グレードアップの場合、この操作は行いません。代替方法として「CAPE 情報を Tfas6/Tfas6 E で使用方法－(1)CAPE 情報のバックアップ(P13)」をご覧ください。

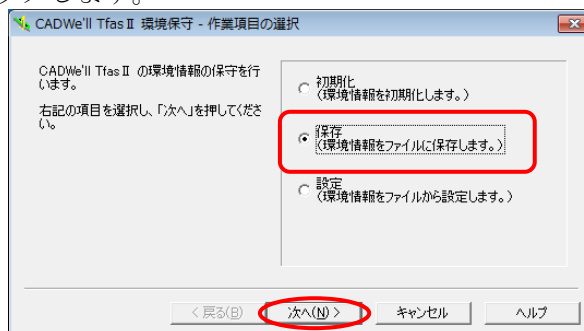
※ 以降の手順は Tfas II 2007 用で記載していますが、Tfas2007、TfasIII~Tfas6、TfasIII E~Tfas6 E でも同様の手順で操作してください。

※ 環境保守で保存できる項目については、[CADWe'll Tfas 環境保守]ダイアログのヘルプ(下記手順 2.で<ヘルプ>ボタンを押す)を参照してください。([環境保守のヘルプ]ダイアログの[キーワード]タブで、表示したい設備を選択し、<表示(D)>ボタンをクリックします。)

◎環境保守を起動する前に、CADWe'll Tfas を終了しておきます。

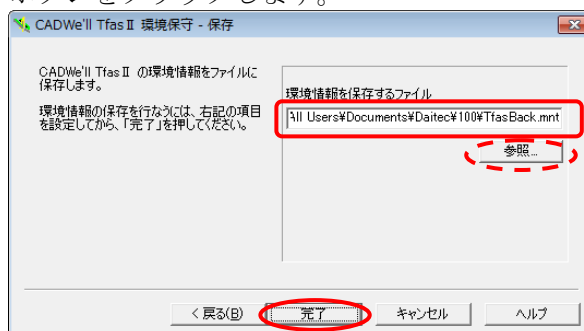
1.  スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム]メニューから[CADWe'll Tfas II]－[Tfas II 2007 環境保守]をクリックします。

2. [CADWe'll Tfas II 環境保守－作業項目の選択]ダイアログが表示されますので、[保存]項目を ON にして<次へ(N)>ボタンをクリックします。



◎初期表示される保存先フォルダは <CommonDocument> です。
 ※ 詳細は「保存先フォルダについて(P17)」参照
 これ以外に保存する場合は、保存先をメモしてください。

3. [CADWe'll Tfas II 環境保守－保存]ダイアログが表示されますので、環境保守情報を保存するファイルの保存先を指定し、<完了>ボタンをクリックします。



◎<参照>ボタンをクリックすると、[CADWe'll Tfas 環境保守]ダイアログが表示され、フォルダを確認しながら保存先を指定することができます。

◎指定フォルダ内に既に同じファイル名で登録されている場合、上書き確認のメッセージが表示されます。

4. [CADWe'll Tfas II 環境保守]ダイアログが表示されますので、<OK>ボタンをクリックします。

これで環境保守情報の保存は完了です。

②部品ライブラリのバックアップ

使用している Tfas/CAPE の「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」を保存します。

注意

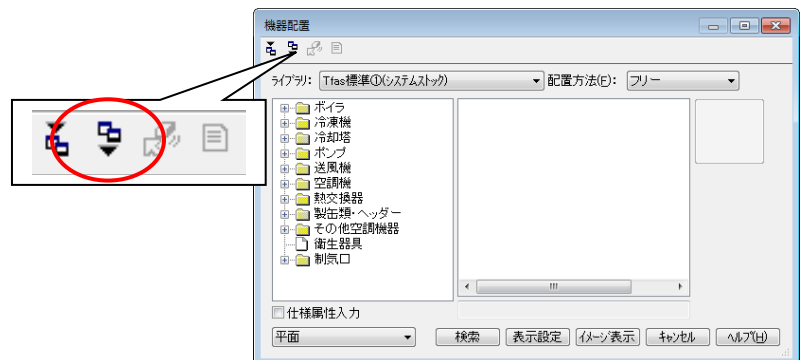
- ・ 「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」の保存は設備ごとで行う必要があります。
- ・ 「共有」で使用している他 PC の「ユーザストックライブラリ」を保存する必要はありません。

※ 以降の手順は Tfas 用で記載していますが、CAPE でも同様の手順で操作してください。

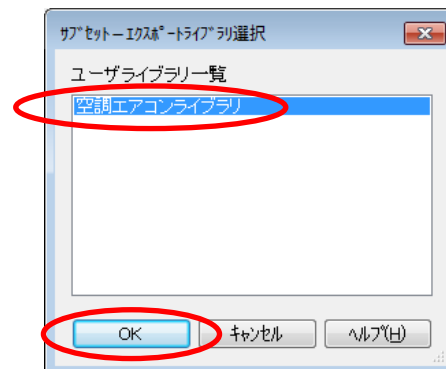
※ 「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」の保存(エクスポート)の詳細は Tfas/CAPE のヘルプ「サブセットライブラリをインポート、エクスポートする」トピックを参照してください。

◎電気設備の場合は、[電気]メニュー[部品]ー[通常配置]で部品ファイルのエクスポートが行えます。

1. 使用している Tfas を起動し、[空調/衛生]メニューから[機器・器具]ー[配置]をクリックします。
2. [機器配置]ダイアログが表示されますので、[サブセットライブラリのエクスポート処理]ボタンをクリックします。



3. [サブセットーエクスポートライブラリ選択]ダイアログが表示されますので、登録したユーザストックライブラリまたはユーザデスクライブラリを選択し<OK>ボタンをクリックします。

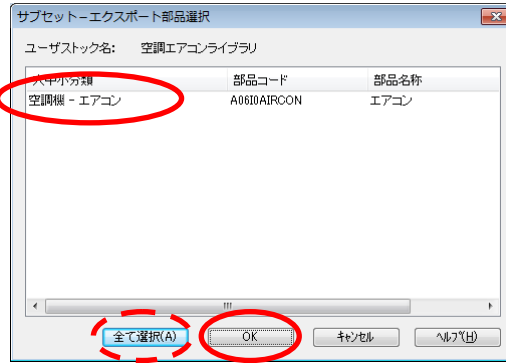


◎全ての部品を選択する場合は、<全て選択(A)>ボタンをクリックします。

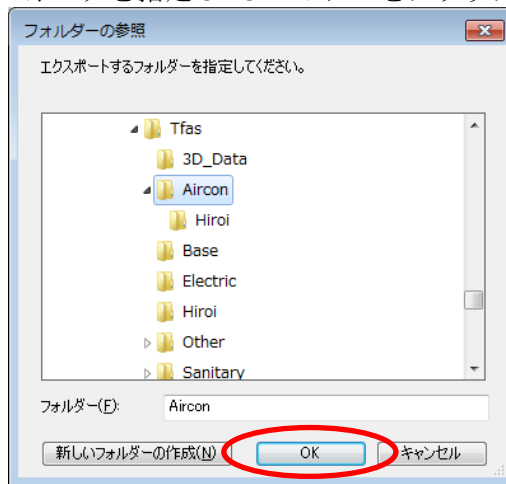
◎<OK>ボタンをクリックする前に、エクスプローラ等で、エクスポート先のフォルダを作成します。

◎初期表示される保存先フォルダは
<CommonAppData>¥
<設備フォルダ>
です。
※ 詳細は「保存先フォルダについて(P17)」参照
これ以外に保存する場合は、
保存先をメモしてください。

4. [サブセット-エクスポート部品選択]ダイアログが表示されますので、保存したい登録済み部品を選択し<OK>ボタンをクリックします。



5. [フォルダーの参照]ダイアログが表示されますので、保存先のドライブやフォルダを指定し<OK>ボタンをクリックします。



6. [サブセットライブラリのエクスポート処理]ダイアログが表示されます。<OK>ボタンをクリックするとエクスポート処理（ライブラリの保存）が終了します。

※エクスポートすると下記のファイルが作成されます。

■ Tfas xxxxx : 数字

設備	ユーザストックライブラリ		ユーザデスクライブラリ	
空調設備	AUSxxxx.ncp	AUSxxxx.mdb	AUDxxxx.mdb	
衛生設備	SUSxxxx.ncp	SUSxxxx.mdb	SUDxxxx.mdb	
電気設備	EUSxxxx.ncp	EUSxxxx.kdb	EUDxxxx.mdb	EUDxxxx.usr
	EUSxxxx.mdb	EUSxxxx.usr		

■ CAPE xxxxx : 数字

設備	ユーザストックライブラリ		ユーザデスクライブラリ	
空調設備	AUSxxxx.cmp	AUSxxxx.mdb	AUDxxxx.mdb	
衛生設備	SUSxxxx.cmp	SUSxxxx.mdb	SUDxxxx.mdb	
電気設備	EUSxxxx.cmp	EUSxxxx.kdb	EUDxxxx.mdb	EUDxxxx.usr
	EUSxxxx.mdb	EUSxxxx.usr		

環境の復元

環境の移行を行う上で必要なデータやファイル類を復元します。

■復元の流れ

①『環境保守』による復元

- ・ バックアップした画面構成やログオンユーザーごとの設定内容を Tfas6/Tfas6 E に復元する。

※ CAPE 環境保守情報は、Tfas6/Tfas6 E で復元することができないため、「CAPE ⇒ Tfas6/Tfas6 E」グレードアップの場合、この操作は行いません。代替方法として「CAPE 情報を Tfas6/Tfas6 E で使用する方法－(2)CAPE 情報の復元(P15)」をご覧ください。

② 部品ライブラリの復元

- ・ バックアップした「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」を Tfas6/Tfas6 E に復元する。

③ その他のファイルの復元

- ・ バックアップした図面、テンプレートを Tfas6/Tfas6 E で開き保存する。また、Tfas6/Tfas6 E で使用できるよう、保存したテンプレートを適宜設定※する。
※ 設定は、[設定]メニュー[環境設定]([環境設定]ダイアログ[図面]タブの[新規図面])で行います。
- ・ バックアップした移行対象ファイルを復元する。また、Tfas6/Tfas6 E で使用できるよう、復元した移行対象ファイルを適宜設定する。

次ページ以降で、上記①・②について説明を行います。

上記③の移行対象ファイルは、『『環境保守』でバックアップされない移行対象ファイル(P11)』で確認してください。

①『環境保守』による復元

「環境保守情報のバックアップ」にて保存した環境保守情報を Tfas6/Tfas6 E に取り込みます。


注意

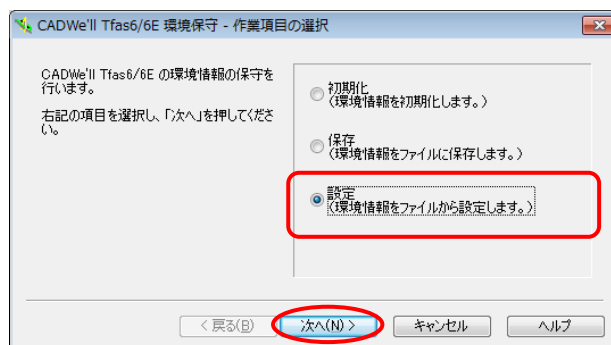
CAPE 環境保守情報は、Tfas6/Tfas6 E で復元することができないため、「CAPE ⇒ Tfas6/Tfas6 E」グレードアップの場合、この操作は行いません。代替方法として「CAPE 情報を Tfas6/Tfas6 E で使用する方法－(2)CAPE 情報の復元(P15)」をご覧ください。

※ 以降の手順は Tfas6 用で記載していますが、Tfas6 E でも同様の手順で操作してください。

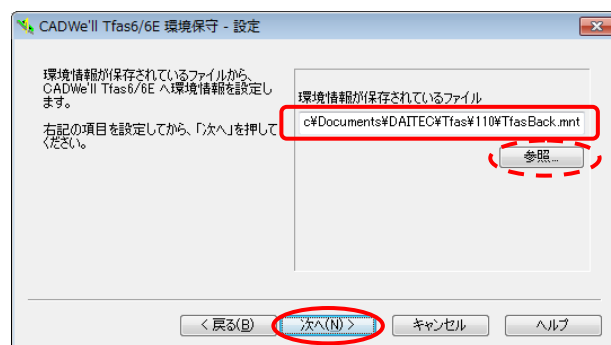
※ 環境保守で設定できる項目については、[CADWe'll Tfas6/6 E 環境保守]ダイアログのヘルプ(下記手順 2.で<ヘルプ>ボタンを押す)を参照してください。([環境保守のヘルプ]ダイアログの[キーワード]タブで、表示したい設備を選択し、<表示(D)>ボタンをクリックします。)

◎環境保守を起動する前に、CADWe'll Tfas6/Tfas6 E を終了しておきます。

1.  ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]メニューから [CADWe'll Tfas6]－[Tfas6 環境保守]をクリックします。
2. [CADWe'll Tfas6/6 E 環境保守－作業項目の選択]ダイアログが表示されますので、[設定]項目を ON にして<次へ(N)>ボタンをクリックします。



3. [CADWe'll Tfas6/6 E 環境保守－設定]ダイアログが表示されますので、環境保守情報が保存されている場所とファイル名を指定し、<次へ(N)>ボタンをクリックします。

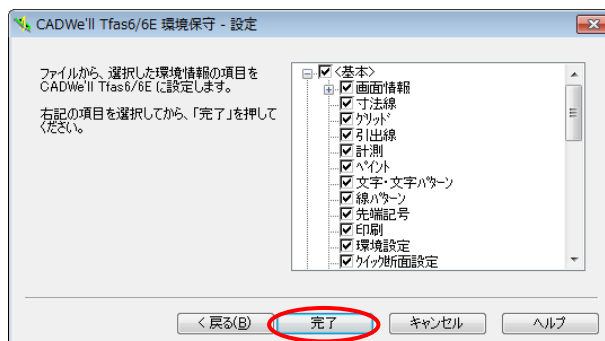


◎保存時に初期表示された <CommonDocument> を指定します。
※ 詳細は「保存先フォルダについて(P17)」参照
これ以外に保存した場合は、その保存先フォルダを指定してください。

◎<参照>ボタンをクリックすると、[CADWe'll Tfas6/6 E 環境保守]ダイアログが表示され、フォルダを確認しながら保存先を指定することができます。

4. [CADWe'll Tfas6/6 E 環境保守－設定]ダイアログに設定項目がツリー表示されますので、各分類からシステム内に設定したい項目を ON に設定し、<完了>ボタンをクリックします。

◎分類の左側の[+]をクリックすることによって、更に細かい分類別に設定する・しないを指定することができます。



5. [CADWe'll Tfas6/6 E 環境保守]ダイアログが表示されますので、<OK>ボタンをクリックします。

これで保存した環境保守情報の取り込みは完了です。

②部品ライブラリの復元

「部品ライブラリのバックアップ」にて保存した Tfas/CAPE の「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」を Tfas6/Tfas6 E に取り込みます。

注意

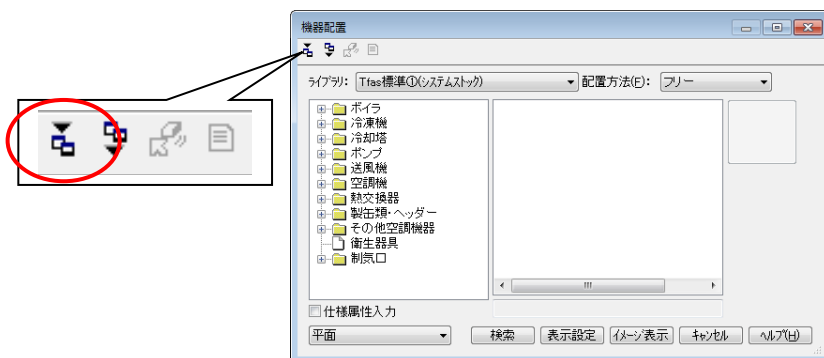
- ・「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」の取り込みは設備ごとで行う必要があります。
- ・「ユーザストックライブラリ」を「共有」で使用する場合、手順4で「共有」を選択しインポートを行ってください。この際、「共有」で使用する「ユーザストックライブラリ」が[機器配置]ダイアログのライブラリリストに表示されていないことを確認の上、インポートを行ってください。
- ・「ユーザストックライブラリ」⇒「ユーザデスクライブラリ」の順に取り込みを行ってください。

※「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」の取り込み（インポート）の詳細はヘルプ「サブセットライブラリをインポート、エクスポートする」トピックを参照してください。

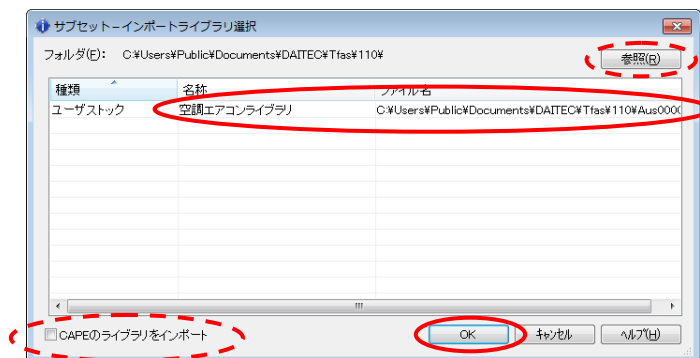
◎電気設備の場合は、[電気]メニュー[部品]ー[通常配置]で部品ファイルのインポートが行えます。

1. Tfas6 を起動し、[空調/衛生]メニューから[機器・器具]ー[配置]をクリックします。

2. [機器配置]ダイアログが表示されますので、[サブセットライブラリのインポート処理]ボタンをクリックします。



3. [サブセットーインポートライブラリ選択]ダイアログが表示されますので、保存したユーザストックライブラリまたはユーザデスクライブラリを選択し<OK>ボタンをクリックします。

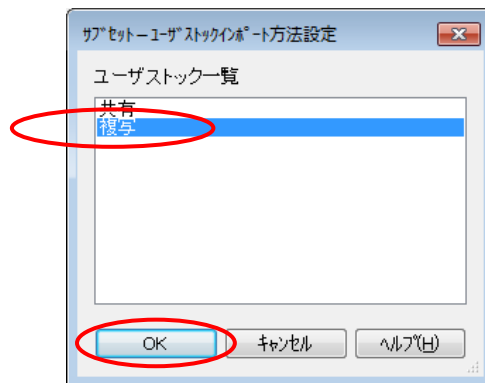


◎初期表示される保存先フォルダは
<CommonAppData>¥
<設備フォルダ>
です。
※ 詳細は「保存先フォルダについて(P17)」参照
これ以外に保存した場合は、
<参照>ボタンをクリックし、その保存先フォルダを指定してください。

◎CAPE のユーザストックライブラリをインポートする場合は、「CAPE のライブラリをインポート」を ON に設定します。

◎ユーザストックライブラリを「共有」で使用する場合は「共有」を選択します。

- 4. [サブセットユーザストックインポート方法設定]**ダイアログが表示されますので、ファイルの取り込み方法を選択し、<OK>ボタンをクリックします。



- 5. [サブセットライブラリのインポート処理]**ダイアログが表示されます。<OK>ボタンをクリックするとインポート処理（取り込み）が終了します。

『環境保守』でバックアップされない移行対象ファイル

以下に[Tfas 環境保守]でバックアップされない移行対象ファイルをまとめます。
バックアップ時の確認用としてご活用ください。

(1) [Tfas 環境保守]の対象フォルダ以外に保存した設定ファイル

下表の設定ファイルは、[Tfas 環境保守]でのバックアップ対象ですが、対象フォルダ以外に保存したファイルは、バックアップされません。手動でバックアップ・復元を行ってください。

1) 基本機能の設定ファイル

《対象フォルダ》 <CommonDocument>%Base とそのサブフォルダ全て

分類	ファイル	拡張子	備考
印刷	マージンファイル	.mgn	
ハッチパターン	ハッチパターンファイル	.ptn	
色一括変更	色一括変更設定ファイル	.t@c	
線幅一括変更	線幅一括変更設定ファイル	.t@w	
色・線種・線幅	色・線種・線幅ユーザ設定ファイル	.t@d	
	線パターンファイル	.t@p	

2) 空調・衛生設備の設定ファイル

《対象フォルダ》 <CommonDocument>とそのサブフォルダ全て

分類	ファイル	拡張子	備考
作図設定(空調)	作図規則ファイル	.ats	
作図設定(衛生)	作図規則ファイル	.sts	
拾い(空調)	拾い設定ファイル	.hri	
拾い(衛生)	拾い設定ファイル	.hri	

3) 電気設備の設定ファイル

《対象フォルダ》 拾い以外 : <CommonAppData>とそのサブフォルダ全て

拾い : <CommonDocument>とそのサブフォルダ全て

分類	ファイル	拡張子	備考
部品・姿図	部品登録情報ファイル	.eci	
	旧部品登録情報ファイル	.ely	
	照度計算マスタファイル	.lig	
配線	配線パレットファイル	.plt	
拾い	拾い設定ファイル	.hri	

※フォルダの詳細は「保存先フォルダについて(P17)」参照

(2) その他のファイル

下表のファイルは、[Tfas 環境保守]でのバックアップ対象外です。
手動でバックアップ・復元を行ってください。

1) 基本機能のファイル

分類	ファイル	拡張子	備考
部品	部品ファイル(Normal.ncp)	.ncp	
	その他部品ファイル	.ncp	
レイヤ	レイヤパターン	.xml	
	レイヤ整理情報ファイル	.lrf	
	レイヤー覧ファイル(出力のみ)	.csv	

2) 空調・衛生設備のファイル

分類	ファイル	拡張子	備考
機器・器具	仕様属性ユーザ項目ファイル	.sau	
マスタメンテ	直管種類・継手種類マスタファイル※	.dcs	
拾い	拾い表 DB ファイル	.hdb	
	集計表 DB ファイル	.sdb	

※[マスタメンテ]でエクスポートした直管種類・継手種類マスタファイルが対象です。

3) 電気設備のファイル

分類	ファイル	拡張子	備考
回路番号	回路番号設定ファイル	.crc	
部品	照度計算データファイル	.csv	
	負荷容量合計表ファイル	.csv	
配線	傍記テーブル設定情報ファイル	.csv	
拾い	拾い DB ファイル	.mdb	
	拾い DB ファイル	.edb	

CAPE 情報を Tfas6/Tfas6 E で使用する方法

「CAPE ⇒ Tfas6/Tfas6 E」グレードアップの場合、以下の方法で CAPE 情報のバックアップと復元ができます。

注意

- ・ CAPE の画面構成は、復元できません。
- ・ 以下に記載しているファイル・情報を復元することはできますが、**[CAPE 環境保守]**で保存できる設定内容全てを復元できるわけではありません。

※ **[CAPE 環境保守]**で保存できる設定内容については、**[CADWe'll CAPE 環境保守]**ダイアログの<ヘルプ>ボタンを押し、ヘルプを参照してください。(**[環境保守のヘルプ]**ダイアログの**[キーワード]**タブで、表示したい設備を選択し、<表示(D)>ボタンをクリックします。)

(1) CAPE 情報のバックアップ

1) 基本情報のバックアップ

a) ファイルのコピーによるバックアップ

以下のファイルをエクスプローラ等でコピーする。

コピーした以下のファイルは、Tfas6/Tfas6 E の復元用コマンドを使用して復元します。

分類	ファイル	拡張子	備考
ハッチパターン	ハッチパターンファイル	.ptn	
線幅一括変更	線幅一括変更設定ファイル	.dcs	
色一括変更	色一括変更設定ファイル	.dcs	
色・線種・線幅	色・線種・線幅ユーザ設定ファイル	.xml	
	線パターンファイル	.atx	
変換テーブル	DWG 変換テーブルファイル	.dwt	
	DXF 変換テーブルファイル	.dxt	
	JW-CAD 変換テーブルファイル	.jwt	
印刷	マージンファイル	.mgn	
レイヤ	レイヤパターン	.xml	
部品	部品ファイル(Normal.cmp)	.cmp	
	その他部品ファイル	.cmp	

b) テンプレートによるバックアップ

Tfas6/Tfas6 E へ移行が必要な以下の情報を設定し、テンプレートファイルを作成する。

※テンプレートは必要数分作成してください。

分類	情報	設定コマンド
レイヤ	レイヤ設定	[設定]メニュー[レイヤ]ー[設定]
寸法線	寸法線設定	[基本図形]メニュー[寸法線]ー[設定]
引出線	引出線設定	[基本図形]メニュー[引出線]ー[設定]
文字パターン	文字パターン設定	[基本図形]メニュー[文字]ー[設定]


2) 空調・衛生設備情報のバックアップ

a) ファイルのコピーによるバックアップ

以下のファイルをエクスプローラ等でコピーする。
コピーした以下のファイルは、変換を行うことなく Tfas6 で使用できます。


分類	ファイル	拡張子	備考
機器・器具	仕様属性ユーザ項目ファイル	.sau	
拾い	拾い表 DB ファイル	.hdb	
	集計表 DB ファイル	.sdb	

b) テンプレートによるバックアップ

Tfas6 で移行が必要な作図規則ファイルを【作図設定】() で設定 (【作図規則ファイルの設定方法】参照) し、テンプレートファイルを作成する。
※テンプレートは必要数分作成してください。

分類	ファイル	拡張子	備考
作図設定(空調)	作図規則ファイル	.csf	
作図設定(衛生)	作図規則ファイル	.ssf	

【作図規則ファイルの設定方法】

- ① 【作図設定】() をクリックし【作図設定 (図面ごとの設定)】ダイアログを表示する。
- ② 【ファイル】タブ【作図規則の選択】に対象の作図規則ファイルを設定する。
- ③ 【ファイル】タブの<作図規則を現在の図面に適用する>ボタンをクリックする。

3) 電気設備情報のバックアップ

a) ファイルのコピーによるバックアップ

以下のファイルをエクスプローラ等でコピーする。
コピーした以下のファイルは、変換を行うことなく Tfas6/Tfas6 E で使用できます。

分類	ファイル	拡張子	備考
回路番号	回路番号設定ファイル	.crc	
部品	照度計算データファイル	.csv	
	負荷容量合計表ファイル	.csv	
配線	傍記テーブル設定情報ファイル	.csv	
拾い	拾い DB ファイル	.mdb	
	拾い DB ファイル	.edb	

(2) CAPE 情報の復元

1) 基本情報の復元

a) コピーしたファイルの復元

コピーした以下のファイルを Tfas6/Tfas6 E のコマンドで復元する。

分類	ファイル	拡張子	復元用コマンド
ハッチパターン	ハッチパターンファイル	.ptn	 CAPE ファイル変換※
線幅一括変更	線幅一括変更設定ファイル	.dcs	
色一括変更	色一括変更設定ファイル	.dcs	
色・線種・線幅	色・線種・線幅ユーザ設定ファイル	.xml	
	線パターンファイル	.ctx	
変換テーブル	DWG 変換テーブルファイル	.dwt	
	DXF 変換テーブルファイル	.dxt	
	JW-CAD 変換テーブルファイル	.jwt	
印刷	マージンファイル	.mgn	
レイヤ	レイヤパターン	.xml	
部品	部品ファイル(Normal.cmp)	.cmp	 CAPE・ARCDRAW 部品変換※
	その他部品ファイル	.cmp	

※ ボタンは、[表示]メニュー[ツールバーカスタマイズ]([カスタマイズ]ダイアログの「分類」(ツール))でツールバーに追加してから使用します。

b) テンプレートによる復元

バックアップしたテンプレートファイルを Tfas6/Tfas6 E で開き、Tfas6 用のテンプレートファイルを作成する。

分類	復元する情報	備考
レイヤ	レイヤ設定	
寸法線	寸法線設定	
引出線	引出線設定	
文字パターン	文字パターン設定	

2) 空調・衛生設備情報の復元

a) コピーしたファイルの復元

コピーした以下のファイルは、変換を行うことなく Tfas6 で使用できます。

分類	ファイル	拡張子	備考
機器・器具	仕様属性ユーザ項目ファイル	.sau	
拾い	拾い表 DB ファイル	.hdb	
	集計表 DB ファイル	.sdb	

b) テンプレートによる復元

バックアップしたテンプレートファイルを Tfas6 で開き、Tfas6 用のテンプレートファイルを作成する。

分類	復元する情報	備考
作図設定(空調)	作図規則ファイルの情報	[作図設定] () で Tfas6 用の作図規則ファイルを適宜作成します。
作図設定(衛生)	作図規則ファイルの情報	

3) 電気設備情報の復元

a) コピーしたファイルの復元

コピーした以下のファイルは、変換を行うことなく Tfas6/Tfas6 E で使用できます。

分類	ファイル	拡張子	備考
回路番号	回路番号設定ファイル	.crc	
部品	照度計算データファイル	.csv	
	負荷容量合計表ファイル	.csv	
配線	傍記テーブル設定情報ファイル	.csv	
拾い	拾い DB ファイル	.mdb	
	拾い DB ファイル	.edb	

保存先フォルダについて

以下に標準のインストールフォルダをまとめます。

(1) Tfas

1) TfasⅢ / TfasⅢ E 以降のバージョンの場合

略号	OS	フォルダ
<CommonDocument>	Windows XP	C:\Documents and Settings\All Users\Documents\Daitec\Tfas
	Windows Vista	C:\Users\Public\Documents\Daitec\Tfas
	Windows 7	
	Windows 8、8.1	
	Windows 10	
<CommonAppData>	Windows XP	C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Daitec\Tfas
	Windows Vista	C:\ProgramData\Daitec\Tfas
	Windows 7	
	Windows 8、8.1	
	Windows 10	
<設備フォルダ>	Windows XP	空調設備の場合 : Aircon 衛生設備の場合 : Sanitary 電気設備の場合 : Electric
	Windows Vista	
	Windows 7	
	Windows 8、8.1	
	Windows 10	

例) OS が「Windows 8」で、対象設備が「空調設備」の「<CommonDocument><設備フォルダ>」は、
C:\Users\Public\Documents\Daitec\Tfas\Aircon となります。

2) Tfas2007 R2 / Tfas2007 SP3 / Tfas II 2007 の場合

略号	OS*	フォルダ
<CommonDocument>	Windows XP	C:\Documents and Settings\All Users\Documents\Daitec\Tfas¥110
	Windows Vista	C:\Users\Public\Documents\Daitec\Tfas¥110
	Windows 7	
	Windows 8、8.1	
<CommonAppData>	Windows XP	C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Daitec\Tfas¥110
	Windows Vista	C:\ProgramData\Daitec\Tfas¥110
	Windows 7	
	Windows 8、8.1	
<設備フォルダ>	Windows XP	空調設備の場合 : Aircon 衛生設備の場合 : Sanitary 電気設備の場合 : Electric
	Windows Vista	
	Windows 7	
	Windows 8、8.1	

例) OS が「Windows 8」で、対象設備が「空調設備」の「<CommonDocument><設備フォルダ>」は、
C:\Users\Public\Documents\Daitec\Tfas¥110\Aircon となります。

※ Windows10 では動作しません。

※ Tfas2007R2、Tfas2007SP3 は、Windows 8、8.1 では動作しません。

3) Tfas2007 R2 より前のバージョンの場合

略号	OS※	フォルダ
<CommonDocument>	Windows XP	C:¥Tfas¥System 空調設備の場合 : Aircon 衛生設備の場合 : Sanitary 電気設備の場合 : Electric
<CommonAppData>		
<設備フォルダ>		

例) 対象設備が「空調設備」の「<CommonDocument>¥<設備フォルダ>」は、**C:¥Tfas¥System¥Aircon** となります。

※ Windows Vista・7・8、8.1・10 では動作しません。

(2) CAPE

1) CAPEⅢのバージョンの場合

略号	OS※	フォルダ
<CommonDocument>	Windows XP	C:¥Documents and Settings¥All Users¥Documents¥Daitec¥Cape¥216
	Windows Vista	C:¥Users¥Public¥Documents¥Daitec¥Cape¥216
	Windows 7	
	Windows 8、8.1	
<CommonAppData>	Windows XP	C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Daitec¥Cape¥216
	Windows Vista	C:¥ProgramData¥Daitec¥Cape¥216
	Windows 7	
	Windows 8、8.1	
<設備フォルダ>	Windows XP	空調設備の場合 : Aircon 衛生設備の場合 : Sanitary 電気設備の場合 : Electric
	Windows Vista	
	Windows 7	
	Windows 8、8.1	

例) OS が「Windows 8」で、対象設備が「空調設備」の「<CommonDocument>¥<設備フォルダ>」は、**C:¥Users¥Public¥Documents¥Daitec¥Cape¥216¥Aircon** となります。

※ Windows 10 では動作しません。

2) CAPE2007 / CAPE II 2007 のバージョンの場合

略号	OS※	フォルダ
<CommonDocument>	Windows XP	C:¥Documents and Settings¥All Users¥Documents¥Daitec¥Cape¥215
	Windows Vista	
	Windows 7	C:¥Users¥Public¥Documents¥Daitec¥Cape¥215
	Windows 8、8.1	
<CommonAppData>	Windows XP	C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Daitec¥Cape¥215
	Windows Vista	
	Windows 7	C:¥ProgramData¥Daitec¥Cape¥215
	Windows 8、8.1	
<設備フォルダ>	Windows XP	空調設備の場合 : Aircon 衛生設備の場合 : Sanitary 電気設備の場合 : Electric
	Windows Vista	
	Windows 7	
	Windows 8、8.1	

例) OS が「Windows 8」で、対象設備が「空調設備」の「<CommonDocument>¥<設備フォルダ>」は、
C:¥Users¥Public¥Documents¥Daitec¥Cape¥215¥Aircon となります。

※ Windows10 では動作しません。

※ CAPE 2007 は、Windows 8、8.1 では動作しません。

3) CAPE2007 より前のバージョンの場合

略号	OS※	フォルダ
<CommonDocument>	Windows XP	C:¥CAPE¥System 空調設備の場合 : Aircon 衛生設備の場合 : Sanitary 電気設備の場合 : Electric
<CommonAppData>		
<設備フォルダ>		

例) 対象設備が「空調設備」の「<CommonDocument>¥<設備フォルダ>」は、**C:¥CAPE¥System¥Aircon** となります。

※ Windows Vista・7・8、8.1・10 では動作しません。